

第74回 紀伊半島みる観る探検隊

飛鳥町神山の今昔

- その歴史と風土の一隅 -



かつて熊野市飛鳥町神山に広大な棚田があったことを知っていますか？
今は木々に覆われた棚田跡を歩くと、石垣や生活の跡、伝承が残る地蔵、迷路のような古道、切通しや苔むす石畳が往時を偲ばせます。

神山の伝統行事「ジャジャツク」は、釣鐘と大太鼓を並べて、シャマタと呼ばれる二股の打棒で鳴らすと、鐘と太鼓は同時に鳴って音を刻み、左手はシュモクと呼ばれる棒で折々鳴らしてリズムをひきしめ、独特な雰囲気をかもし出します。念仏踊りの名残がある盆踊りと幻想的な「ひとぼし」行事とともに熊野市無形文化財に指定されています。

神山出身で熊野市歴史民俗資料館館長の更屋好年さんが、昭和20年～30年代の、わが郷土の今昔を語ります。車で通るだけでは分からない、山里の民俗文化に触れながら歩きましょう。

【行程】 ※歩行距離：約4.2km 累積標高差：約150m

神山生活改善センター（屋内にてオリエンテーション、ジャジャツク実演）…光福寺…切り通し…元禄期の庚申塔…小僧池地蔵…岩屋地蔵（折り返し）…分岐…棚田跡…神山生活改善センター～（車移動）～骨齒滝…旧杉村家…つり橋跡…滑地にて終了・解散

開催日時：令和8年 5月10日（日） ※雨天は5月24日（日）に延期
9：30開始～15：30終了

集合場所：神山生活改善センター（熊野市飛鳥町神山188-3）

案内人：更屋 好年さん

持ち物：弁当、飲み物、雨具、帽子、常備薬など

参加費：2,000円（引率料、保険料、通信費など）

募集人数：20名（要申込み、定員になり次第締切り）

- *山道や滑りやすい石畳、足下が不安定な場所も歩きます。
トレッキングシューズと歩きやすい服装でご参加ください。
- *お申込み後にアクセス方法などの詳しい案内状をお送りします。
- *公共交通機関でお越しの方は、お申込みの際にご相談ください。
- *必ず自己責任でご参加ください。事故怪我などの発生時は、
エコツアー保険の範囲内で対処することに同意の上でお申込みください。

申込先：電話 090-7865-0771（くまの体験企画 内山 裕紀子）

※住所、氏名、電話番号、生年月日をお知らせください。



【主催】 くまの体験企画 紀伊半島みる観る探検隊実行委員会

〒519-3612 三重県尾鷲市林町9-28 電話:090-7865-0771 <https://kumanokodo.info/>